

第1章 事業概要

第1節 事業の趣旨・目的

ASEAN の学生とその親世代を主な対象とし、彼らの日本留学への潜在的関心を引き出し、顕在的関心を強固なものとするため、広報ツールとしての各国語版 SNS ページとその連携構造の構築・運用やリーフレットの作成・配布を実施する。

そこでは、日本留学や就職だけでなく、より一般的な日本の魅力をアピールする内容も投稿し、閲覧者が拡散することで日本への興味が薄い層にまで日本、及び日本留学に関する意識を啓発する。さらに、昨年度本財団が推進した事業の成果である日本留学・就職を促進・支援するための Web サイト「J-Study」（JES に名称変更）や専修学校、企業等の SNS と連動することにより、SNS で日本に関心を持った ASEAN の学生が留学・就職について、より整理され充実した情報を得られるようにする。

また、本事業を継続性の高いものとするための事業モデルとしてコンソーシアム形態を想定する。それにより、特に日本の専修学校への留学を促進し、ひいては日本の産業競争力の向上に寄与することができる人材を育成することの一助となることを目的としている。

なお、本年度は3年間の事業推進の開始に当たり実態調査、広報ツール、リーフレット共にベトナムを対象として構築・作成した。

第2節 事業の概要

平成29年度は、以下の3項目の事業を実施した。

①ASEANにおけるインターネット利用とSNS運用に関する調査

昨年度の成果である「JES」Webサイトと連動させるSNSの構築にあたり、ベトナムの人々のインターネット利用に関する実態調査及びベトナムをはじめ東南アジア諸国で広報・募集活動を行う日系企業、専修学校、日本語学校のSNSとWebサイト運用に関する実態調査・事例調査を行った。

②SNSの構築とリーフレットの作成

①の調査を踏まえ、必ずしも日本への関心が高くない層にも日本留学に関する意識を啓発し、同時に日本や留学・就職への関心が高い層を「JES」Webサイトなどへと誘導できる効果的なSNSページを構築する。29年度から31年度にかけてASEAN諸国言語も含めた計10ヶ国語版を作ることを予定しているが、その第一段階として本年度はベトナム語版の構築を行った。さらに、留学生対象のイベント等での配布を想定し、SNSページを紹介するためのリーフレットを作成した。

③SNSページの実証実験

実証実験の期間と参加者を選定し、②で構築したベトナム語版Facebookページを試行的に稼働させた。

第3節 具体的取組

①ASEANにおけるインターネット利用とSNS運用に関する調査

調査（1）

ベトナムインターネット利用に関する実態調査を実施した。ベトナムのインターネットユーザー及び日本留学生がどのように情報収集等のインターネット利用を行うかを明らかにすることを目的とした。調査の対象は、ベトナムの一般のインターネットユーザー及び日本への留学経験者、現役留学生、留学予定・希望者である。これらに対してSNS上の口コミへの信頼度、情報収集方法、媒体といったメディア・ネットリテラシーに関する問題をアンケート形式で尋ねた。具体的な結果は、第2章の第2節と第3節で詳述する。

調査（2）

SNSとWebページの運用事例調査を実施した。専修学校、日本語学校、日系企業がASEAN諸国においてどのようにSNS及びWebサイトを運用しているかを明らかにすることを目的とした。ASEAN諸国への広報・募集活動を行っている日本語学校、専修学校及び在ベトナムの日系企業を対象として、WebサイトとSNSの使い分け、頻度、内容、インタラクティブ性といったコンテンツに関わる問題をヒアリング、アンケートによって取りまとめた。具体的な結果は、第2章の第3節と第4節で詳述する。

②SNSの構築とリーフレットの作成

（1）SNS構築 「JES Facebook」

ベトナムに対して日本と日本留学（主に専門学校）への関心を喚起するために、口コミによる拡散を誘発できるようなFacebookページを企画・設計・構築し

た。ベトナム語に対応した Facebook ページと各種ページとの連携を以下の手順で実現した。

(A)企画

- ・方針：Facebook ページを中心に各種ページとの連携し高い拡散効果を狙う。
- ・目標：予算枠内で想定する拡散効果のある機能やコンテンツと連携を実装。
- ・期間：29年度としてベトナム語に対応。

(B)設計

- ・機能：Facebook ページの基本機能から必要なものを選び設定内容を決定。
- ・変更：Facebook ページを支援するコンテンツの仕様を決定。Facebook ページと連携する Web サイト等を選定し、連携形態を決定。

(C)構築

- ・基本設定： Facebook ページのオリジナル機能の設定。
(アカウント、権限、基本データ等)
- ・イベント： Facebook ページを有効に機能させるためのイベントコンテンツを実装。(例えば、検定やコンテストなどを実施するアプリ等)
- ・コンテンツ： Facebook ページ、日本留学等に関するコンテンツを制作。
- ・連携構築： 他の SNS (ベトナム関係事業者 SNS 等) や Web サイト
(専修学校、日本語学校、関連団体、企業等) との連携を設定)

なお、構築の実際は第3章で詳述する。

(2)「JES Facebook」リーフレット

留学フェアなどのイベントにおいて配布し、JES Facebook の紹介することによって参加者の JES Facebook ページへの認知度の向上を目的としてベトナム語版リーフレットを制作した。具体的には、第3章の第6節を参照。

③JES Facebook ページの実証実験

構築した Facebook ページをベトナムの参加者に利用させ有効性を評価するために、30 年 2 月の 1 ヶ月間に渡ってベトナムの連携する大学や学校の学生と生徒をはじめ広く一般に構築した Facebook ページを利用して貰い、構築の狙いなどの有効性を評価するためのデータを収集した。その詳細は第 4 章で詳述する。

第4節 実施体制

本事業を推進するための体制は以下のとおりである。本事業では、実施委員会が事業方針・計画を策定し、事業推進の管理・評価する。そのもとに分科会を設置し、開発仕様の策定と開発物の検証を実施する。さらに、30年度からは分科会の管理下で事業推進管理者が、事業推進における各種リソース・成果・経費等を管理し、内外の調整を行う。そして、そのもとで協力者・専門業者等に具体的な業務を依頼する。事務局は、事業推進を一貫して補助する役割を担う。



本事業の中核となる実施委員会の構成員は以下の通りである。

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	谷田部賢一	一般財団法人日本教育基盤財団 代表理事	統括	東京都
2	篠原克彦	学校法人滋慶学園 東洋言語学院 事務局長	実証 企画	東京都
3	中川由加里	学校法人滋慶学園 滋慶国際交流COM 代表	実証 企画	東京都
4	根本峰人	学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校 事務局次長	実証 企画	宮城県
5	浅川英文	学校法人東京安達学園 専門学校東京スクール・オブ・ビジネス 校長	実証 企画	東京都
6	細野修一	学校法人アテネ・フランセ 専門学校アテネ・フランセ 理事	実証 企画	東京都
7	小山裕司	公立大学法人首都大学東京 産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長 教授	調査 評価	東京都
8	宮里智樹	国立大学法人琉球大学 工学部 システム情報工学 助教	調査 評価	沖縄県
9	赤羽幸雄	学校法人札幌学院大学 客員教授	調査 評価	北海道
10	重田誠	一般社団法人全国地域生活支援機構 常務理事	構築 実施	東京都
11	久保田学	一般社団法人留学生支援ネットワーク 事務局長	構築 実施	東京都
12	新井永鎮	株式会社ヒューマンパワー 代表取締役	構築 実施	東京都
13	工藤尚美	株式会社オリジネーター 取締役	構築 実施	東京都
14	平山雄一	株式会社アルバイトタイムス プロジェクトマネージャ	構築 実施	東京都
15	林田かおる	ヒートウェーブ株式会社 代表取締役	構築 実施	東京都
16	増田一人	ジェイアイティグローバルサポート株式会社	構築 実施	東京都